<table>
<tr><td>授業科目名：
保健体育科指導法Ⅰ</td><td>教員の免許状取得のための
の
必修科目</td><td>単位数：
２単位</td><td>担当教員名：杉山正明・
渋谷　聡・天利　公一
担当形態　　オムニバス</td></tr>
<tr><td>実務内容
（実務家教員の場合）</td><td colspan="3">高等学校保健体育科教諭としての経験を活かして、中学校および高等学校保健体育科教諭としての資質・能力を高めるとともに学習指導案の作成について指導する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">科　目</td><td colspan="2">教科及び教科の指導法に関する科目
（中学校及び高等学校 保健体育）</td></tr>
<tr><td colspan="2">施行規則に定める
科目区分又は事項等</td><td colspan="2">各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）</td></tr>
<tr><td colspan="4">「学位授与の方針」との関係
・共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志をもつこと。
・個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自立的な課題探究能力を身に付けていること。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の到達目標及びテーマ
保健体育科教育の意義、目標、学習指導要領及び解説の内容の示し方、体育の授業づくりの原理・原則、学習評価の在り方を理解し、「指導と評価の一体化」に基づいた単元を見通した授業計画の立案と学習指導案の作成などの保健体育の授業の実践的な能力を身に付けることができるようにする。
また、教師は「反省的実践家」ともいわれており、その視点から「学び続ける教師」の必要性を理解できるようにする。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の概要
印刷教材を活用したレポート作成と面接授業を行う。体育の「指導と評価の計画」を作成したうえで、面接授業では、講義として教師に求められる資質・能力および良い授業に求められる保健体育教師の力量形成、体育における授業づくりの原理・原則や「指導と評価の一体化」についての学修を行う。また、模擬授業では、体育実技について行い、学習指導要領及び解説に示された「体育の見方・考え方」の捉え方や学修内容の特定の考え方及び「主体的・対話的で深い学び」を目指した学修活動の具体的な構成やタブレットなどのICT機器の効果的な活用についての理解を深めるとともに、学習指導案作成の力量形成を目指す。この際、講義や模擬授業においては、それぞれの授業における学修内容や効果的な指導の在り方、ICT 機器の効果的な活用などについて全員で意見交換をする。（アクティブラーニングの手法を用いる）。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業計画
第１回：保健体育科教育の意義、目標および保健体育教師の資質と能力
第２回：学習指導要領及び解説に示された「体育の見方・考え方」と学習内容・学習方法
第３回：体育における「主体的・対話的で深い学び」の捉え方とその具体
第４回：良い体育授業の条件から捉えた体育授業づくりの原理・原則
第５回：体育授業における教材・教具づくり
第６回：体育の学修評価とそのタイミング</td></tr>
</table>

第７回：体育の授業における効果的なICT機器の活用方法について
第８回：模擬授業Ⅰ（球技：ネット型）に向けて指導案作成
第９回：模擬授業Ⅰ（球技：ネット型）実践
第１０回：模擬授業Ⅱ（球技：ゴール型）に向けて指導案作成
第１１回：模擬授業Ⅱ（球技：ゴール型）実践
第１２回：模擬授業Ⅲ（体つくり運動）に向けて指導案作成
第１３回：模擬授業Ⅲ（体つくり運動）実践
第１４回：模擬授業省察、「指導と評価の計画」とその実践についての振り返り
第１５回：自己の教育課題の発見と社会の変化に対応した教育の在り方
定期試験

スクーリングでの学修内容
教師の授業力の構成要素に基づいた保健体育教師の力量形成の必要性、および体育の授業づくりのポイントを理解した上で、「指導と評価の一体化」に基づいた１時間の学修の流れを作成し、スクーリングで実施する模擬授業のための教材研究および学習指導案の作成を行う。
模擬授業は、体育では、「中学校、高等学校　体つくり運動」もしくは「中学校、高等学校　球技（ネット型・バレーボール)」、「中学校、高等学校　球技（ゴール型・バスケットボール)」のいずれか１種目を行い、実施後に全体で授業改善のポイントについて協議する。
（スクーリングではすべての内容を包括的に取り上げる。）

教科書
（１）文部科学省『中学校学習指導要領解説　保健体育編　平成29年告示』２０１９年　東山書房　ISBN　978-4827815764
（２）文部科学省『高等学校学習指導要領解説　保健体育編　体育編　平成30年告示』２０１８年　東山書房　ISBN　978-4827815689
（３）文部科学省国立教育政策研究所体育課程研究センター『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校保健体育』２０２０年　東洋館出版社　ISBN　9784491041384
（４）文部科学省国立教育政策研究所体育課程研究センター『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料　高等学校保健体育』２０２１年　東洋館出版社　ISBN　9784491047058

参考文献
（１）杉山重利他（編著)『めざそう　保健体育教師』朝日出版社　２０１０年　ISBN　9784255005164
（２）高橋健夫他（編著)『新版　体育科教育学入門』大修館書店　２０１０年　ISBN　9784469267013

学生に対する評価
レポート評価（２５％)、スクーリング評価（２５％)、科目修得試験（５０％）の割合で総合して評価する。